



2020年度(令和2年)新任紹介および活動報告



2020年度新任メンバー



綱引き審判練習風景

2020年度(令和2年)、新しく6名が青梅市スポーツ推進委員として選任されました。

写真(左)より、前列左から第6支会 黒木伸二、第11支会 石上憲志郎、後列左から第1支会 藤野昌男、第10支会 奥山忠夫、第4支会 原島弘、第2支会 谷村光智となります。これから皆様の地域における住民のスポーツ活動を推進してまいりますので、よろしくお願いいたします。青梅市では現在24名が各支会から選任され活動していますが、東京都では20代～70代の1500名程が各地域でスポーツ推進委員として活動しているそうです。私達は青梅市やスポーツ協会から協力依頼されているスポーツ行事の他、自らが企画、運営をする主管行事を実施しています。もちろん各支会で行われるスポーツ行事の運営も行います。

また、月1度の定例会をはじめ各スポーツ研修会や講習会、西多摩地域の各委員との交流・情報交換なども実施しています。

コロナ禍でほとんどの行事が中止や延期となり、スポーツ行事もなかなか実施出来ない状況ではありますが、早くコロナが終息し、また楽しくスポーツ行事が出来ることを願っております。皆様も健康には十分注意してストレスを溜めないようにお過ごしください。

昨年実施したウォーキングフェスタと奥多摩溪谷駅伝競走大会の記事をご紹介します。

第16回 ウォーキングフェスタ

第16回ウォーキングフェスタが令和2年11月23日に開催されました。

今回は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、事前募集した150名限定で行われました。当日は天気も良く、参加者（105名）には体温チェック、マスク着用をお願いしたうえで10名程のグループに分かれての時差スタートといたしました。

コースは青梅市役所⇒永山公園 ⇒釜の淵 ⇒駒木町、長淵 ⇒千ヶ瀬町 ⇒市役所ゴールと約10kmの起伏を入れたコースを皆様楽しんでいただきました。

皆様は普段からよく歩かれますか？歴史のある街並み、新しい街並み、自然の景色、ウォーキングをしていると色々な発見があります。ぜひ美しい青梅を歩いてみてください。



市役所 スタート風景 少人数に班分けしてスタート

第17回ウォーキングフェスタ

令和3年11月23日(祝)に実施予定です！

青梅のまちを
楽しく歩こう！



(第1支会 菅野 正浩)

第82回奥多摩溪谷駅伝競走大会

第82回奥多摩溪谷駅伝競走大会が令和2年12月6日にコロナ禍で危ぶまれる中、自治会の部などを中止し規模を縮小することで開催することができました。箱根駅伝のようにこの大会も歴史ある駅伝大会です。私たちは1週間前から体調管理をしてコース整理にあたりました。

今回は沿道での声援は控えてもらう様お願いしていたため、見た目ではやや寂しい大会になってしまったかもしれませんが、出場選手の熱は変わらず、お天気にも恵まれ、一般、大学、高校、女子の部と200チーム程が参加し疾走感を感じさせてくれました。

(第9支会 清水 唯人)

東京オリンピック、パラリンピック

令和3年7月11日に青梅市で予定されていた東京2020オリンピックの聖火リレーが中止になりました。今年は青梅市制施行70周年と合わせて思い出のリレーになった事でしょうが残念です。聖火は御岳溪谷をカヌーでリレーし、その後青梅の名のもとになった金剛寺を出発、青梅駅前ロータリー～東青梅～河辺駅南ロータリー～住友金属鉦山アリーナ青梅に到着予定でした。なお、7月11日には瑞穂町のセレブレーション会場にて無観客の点火セレモニーが開催されました。

さて、オリンピックには青梅市在住の矢澤 亜季さんがカヌー・スラローム女子に出場しました。矢澤さんはリオデジャネイロオリンピックに出場し今回が2度目の出場でした。今大会は準決勝に進出しましたが、惜しくも決勝進出とはなりません。また、パラリンピックには青梅市在住の若杉 遥さんが日本代表として静かな格闘技であるゴールボールに出場しました。若杉さんはロンドンパラリンピックのゴールボールに日本選手団最年少17歳で出場し金メダルを獲得、リオデジャネイロでは5位入賞となり、今回が3度目の出場でした。

今大会は準決勝で敗れるものの、3位決定戦に勝利し見事銅メダルを獲得しました。

(第2支会 細川 昭男)